

グローバル教育講演会「タンザニアから鶴高生へ！」

2026年1月9日（金）に1学年（51期生）に向けてグローバル教育講演会が行われました。講師・菊池モアナさんはボーダレス・タンザニア・リミテッドの代表取締役社長です。同社はタンザニアで生理用ナプキンの製造・販売を通して雇用を創出し、同時に「生理の貧困」の解決を目指しています。また、菊池さんは鶴嶺高校の卒業生でもあります。タンザニアと鶴嶺高校を中継でつなぎ、菊池さんが熱いメッセージを届けてくれました。鶴高生はグローバルな視点での知見を深め、将来の進路選択や人生設計の助けとなる大きな刺激を受けました。



生徒の声

- ・モアナさんが興味があることへ向かう姿勢がすごいと思った
- ・「自分の人生に起こった事に、自分で意味をつける」という言葉に勇気もらった
- ・タンザニアでは若いうちに妊娠して学校に通えなくなったり、自分で働かなければならない人が沢山いると知って、びっくりしました。
- ・自分の「気になる」を探求し続けていると将来、誰かの役に立てるかもしれないと思えた。
- ・自分のしたいことをしているモアナさんをととても尊敬したし、私もそんな風になりたいと思いました。
- ・モアナさんは、気になったことをすべて行動に移して、そこから得た経験全てを使って自分自身の力で人生を色鮮やかにしているんだなと感じました。
- ・英語がペラペラじゃなくても海外で暮らせるし、何事もチャレンジが大切だと思った。
- ・自分がちゃんと清潔なナプキンを使えている環境は当たり前ではないということを知ったし、なにか自分にもできることがあるのでは思いました。
- ・挑戦することに対するハードルを自分が勝手に上げていたことが分かりました。